

# 中干しの 適期実施で 倒伏防止！

## 令和4年 夷隅地域水稻生育情報

第 1 報

令和4年5月26日  
夷隅農業事務所  
改良普及課  
TEL 0470-82-2213  
FAX 0470-82-3975

### 生育概況

植え付け後となる4月下旬から5月中旬にかけて気温が低く、日照時間も短く推移しました。さらに、降水量が多く深水となったため、茎数が少ない傾向が見られました。

また、一部のほ場では藻類、ジャンボタニシ、雑草の発生が見られます。

気象庁の1か月予報（5月21日～6月20日）では、期間の前半は数日の周期で天候が変化し、後半は平年に比べ曇りや雨の日が多くなるとされています。天気予報をよく見ながら適期作業に努めましょう。

表1 夷隅地域での作柄調査ほの平年比生育状況（5月20日現在）

品種	調査場所	植付時期	平年比*		
			葉齢の進み	草丈(cm)	茎数(本/株)
ふさこがね	大多喜町下大多喜	4月23日	6.8(並)	29(高)	5.8(少)
コシヒカリ	いすみ市松丸	4月23日	6.0(遅い)	34(並)	10.5(少)
粒すけ	いすみ市島	4月19日	6.9(やや早い)	27(並)	6.6(並)

※ 粒すけは調査3年目のため、過去2年分のデータと比較した結果を示しました。

### 1 藻類への対策

今年も藻類の発生がよく見られます。多発すると、藻類により苗が押し倒されて欠株が発生したり、水温が上がらないことで、苗の生育が抑制されます。

ほ場一面に藻類が広がると、除草剤（特にジャンボ剤）や肥料散布の妨げになるため、藻類多発ほ場では、表2の除草剤を用いて防除しましょう。

表2 藻類の防除効果のある薬剤例

資材名	使用量	使用時期/使用回数
モゲトン粒剤	2～3kg/10a (湛水散布又は 無人ヘリコプター散布)	藻類の発生始～発生盛期 /3回以内 (但し、収穫45日前まで)

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

### 2 スクミリングガイ（ジャンボタニシ）への対策

千葉県農林総合研究センターの病害虫発生予察で、5月上旬の全体の被害株率は「やや多」との発表がありました。夷隅地域においても、防除が徹底されず、水稻が食べつくされたほ場もあります。

ジャンボタニシの食害は、田植え後3週間程度まで見られます。被害が多いほ場では表3を参考に薬剤散布を実施します。併せて、水深4cm以下の浅水管理（耕種的防除）、貝や卵塊除去（物理的防除）を組み合わせる体系的に防除してください。

近年、ジャンボタニシの生息地域が徐々に拡大しています。作業後には乗用機械をよく洗浄し、泥塊と一緒にスクミリングガイを生息地域外へ持ち出さないように注意しましょう。

表3 ジャンボタニシ殺貝効果のある薬剤例

資材名	施用量	施用時期/使用回数
スクミノン	1～4kg/10a	収穫 60 日前まで/2 回以内
ジャンボたにしくん	1～2kg/10a	
スクミンベイト3	1～4kg/10a	発生時/-

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

※ スクミンベイトとジャンボたにしくんは有効成分が同じなため、使用回数には注意してください。

### 3 過剰分げつ予防のための中干し

今後、気温の上昇により、分げつが過剰になるほ場が増えてくると予想されます。中干しは過剰分げつを避けるための重要な管理です。適期の中干し実施により、根の活性を高めることで倒伏を防止し、さらに、乳白米等の玄米品質低下の抑制にもつながります。

表4に中干し開始時期の目安を示しましたので、参考に中干しを開始しましょう。

表4 品種別の中干し開始時期の茎数の目安 (50 株/坪植え)

品種	中干し開始時期の茎数の目安		
	砂質	壤質	粘質
ふさおとめ	32 本/株	32 本/株	29 本/株
ふさこがね	24 本/株	24 本/株	24 本/株
コシヒカリ	21 本/株	20 本/株	20 本/株
粒すけ	31 本/株	29 本/株	29 本/株

### 4 雑草への対策

処理しきれなかった、水田雑草のノビエやホタルイが目立つほ場が多く見られます。

雑草が多発すると水稻の生育・収量の低下だけでなく、斑点米カメムシの増加を助長し、玄米品質の低下にもつながります。ほ場に雑草が見られる場合は、表5を参考に中・後期除草剤を散布しましょう。

表5 取りこぼしたノビエやホタルイに効果のある薬剤例

除草剤名	使用量	施用時期/使用回数	使用方法
クリンチャーバ ス ME 液剤	1000mL (希釈水 量 70～100L) /10a	移植後 15 日～ノビエ 5 葉 期 (但し、収穫 50 日前まで) /2 回以内	落水散布又は ごく浅く湛水して散 布

※ 農薬を使用する際にはラベルをよく読み、適正使用に努めてください。

**『水稻生育情報』の入手には、メールやFAXへの切り替えがおすすめです。**

**できるだけ迅速に情報提供を行うため、**  
郵送からメールもしくはFAXでの提供に切り替えをお願いしています。

切り替え可能な方は、右記連絡先までその旨をお伝えください。

連絡先

夷隅農業事務所 改良普及課

担当者：緑川、高祖、鈴木、板倉

電話：0470-82-2213 FAX：0470-82-3975

E-mail：t.itkr14@pref.chiba.lg.jp